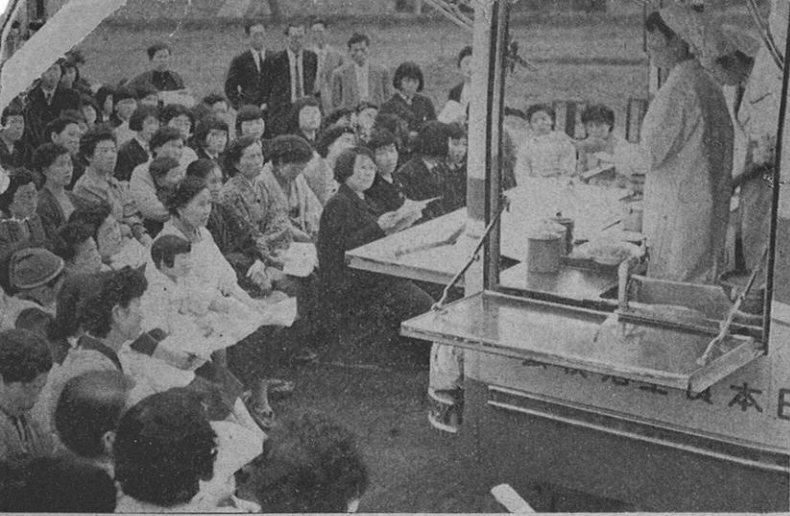


さわやかな青葉若葉も初夏の太陽に緑の濃さを深め自然も人も清新の気に満ちている。これは、初夏の肥後路にカメラがとらえた最近の話題である。

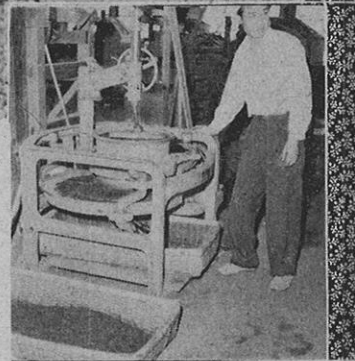


海を渡るキッチンカー 「動く台所」キッチンカーが、四月から五月一ぱい、県内各地を巡回して、栄養料理の実演講習会を開いたが、極めて好評だった。写真右は、初夏の海を天草へ渡るキッチンカー、上は栄養料理の講習風景。

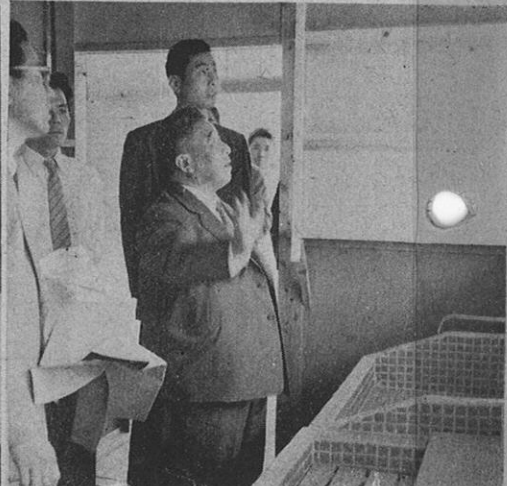


茶つみたけなわ さんさんたる初夏の太陽のもと、今県内各地では茶つみの真最中。今年も「まずまずの豊作です」とのこと。写真右は製茶中の一コマ。(県茶業試験場にて)

こんな農家はイカガ 県では、農村の住生活改善を奨励するため、このほど県内各地に、農村モデル住宅十一戸を完成した。これまでの暗い農家の観念を根本的にくつがえした野心作。合理的で明るい台所や浴室、玄関を利用した応接室など、今後の農村住宅の方向を示している。(右)は改良台所を視る水上副知事。



昭和31年度
農村モデル住宅
設計監理熊本県建築課
施工 工大建設株式会社



保存食をたべる知事

早期栽培の田植を終えた桜井知事(左端)は、部落の人々にまじって、農繁期用の保存食や共同炊事の昼食をとった。これらはすべて生活改良普及員の指導で、部落の人々が作ったもの。

(菊池郡大津町にて) ↓



各地で水防演習

雨期を前にして、県下各地では水防演習が真剣に行われている。写真は5月30日上益城郡益城町木山川畔で行われた演習のスナップ。↑



初のポリウイア移住

県では、南米の新天地を求めて移住する21家族(142名)のために壮行会を開いて激励したが、特にポリウイアへゆく4家族(26名)は、戦後はじめての移住でもあり、その活躍が期待されている。

(熊本市自治会館にて) →



八代カボチャ出廻る

「肥後ワセ」として、北九州は勿論、東京方面にまで有名な八代カボチャは、今年も豊作である。

出荷はすべて農協の計画的な共同販売体制のもとで行われ、好成績を挙げている。(八代郡鏡町にて) →

